解答プリント「中学2年理科・第2分野」

■補充プリント

16 動物のなかま、生物の変遷と進化

解答例 解説 1 (1) 背骨がある動物を、脊椎動物という。 1 知 (1) 脊椎動物 (2) 背骨がない動物を、無脊椎動物という。 知 (2) 無脊椎動物 (3) 恒温動物 (3)(5) 恒温動物(鳥類と哺乳類) 知 まわりの温度が変化しても体温がほぼ一定に保たれて 知 (4) 胎生 (5) 変温動物 いるような動物。 知 変温動物 (魚類, 両生類, は虫類) (6) ウ.エ 知 まわりの温度の変化にともなって体温も同じように変 (7) ウ 知 (8) 節足動物 化する動物。 知 知 (9) 軟体動物 40 _ -モルモット(哺乳類) 30 ___ イグアナ(は虫類) 20 10 20 30 40 気温[℃] (4) 胎牛 (哺乳類) 哺乳類は、雌が子を体内である程度で成長させてからう み、うまれた子には雌が乳を与えて育てる。 (6) 乾燥した陸上に産卵するは虫類と鳥類の卵には、殻が ある。水中に産卵する魚類と両生類の卵には殻はない。 (7) は虫類 体表がかたいうろこやこうらでおおわれていて乾燥に 強い。 (8) 節足動物(昆虫類, 甲殻類など) 無脊椎動物のうち、からだが外骨格でおおわれており、 からだとあしに節がある動物。 (9) 軟体動物 (アサリ. イカなど) 無脊椎動物のうち、からだとあしに節がなく、内臓があ る部分が外とう膜でおおわれている動物。 2 知 (1) 進化 2 (1) 進化 知 (2) 鳥類 生物は長い時間の間にしだいに変化していき、新しい生 物が生じる。このような変化を、生物の進化という。 知 は虫類 (2) シソチョウ(始祖鳥)は、羽毛(鳥類の特徴)をも ち、口には歯が、つばさの先には爪(は虫類の特徴)があ る。このことから、シソチョウ(始祖鳥)はは虫類と鳥類 の中間の動物と考えられている。